

## 個人探究学習 ～5年生の発表会から～

みなさん、こんにちは。

前号で「個人探究学習」に取り組んでいることを御紹介しました。今回はそのうち5年生の個人探究学習の発表会の様子をお伝えしたいと思います。と申しましても、様子をそのままお伝えするのではなく、発表会を聞いて私が驚いたことを二つ述べてみたいと思います。

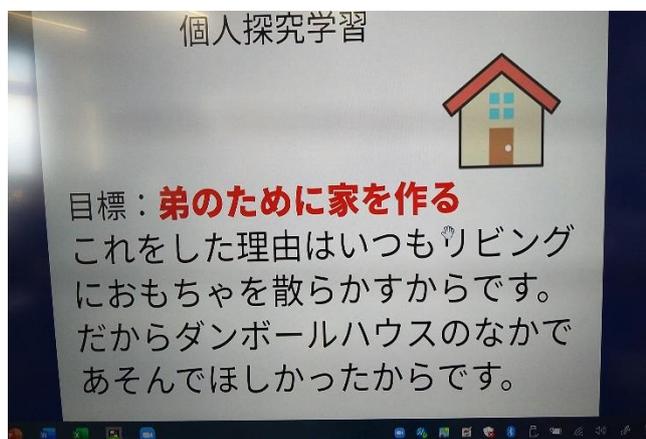
### 個性的な探究課題が続々…

「どんな紙飛行機がよく飛ぶか」「自分で紙を作ってみました」「かなへび（とかげ）と仲良くなるためには」など、ユニークな探究課題がたくさんあって率直に驚きました。私が参観した中で特に印象に残った課題は「弟のために家を作る」という課題で、いつ



も部屋を散らかす弟に段ボールハウスを作ってその中で遊んでほしいと思ったことから探究課題としたというものでした。

自分の興味・関心などに応じた学習課題に取り組める個人探究学習ですが、一方で、どんな課題を設定するかというのはなかなか難しいところでもあります。課題がどれだけ「自分事」になるかというのは、実は大人でもなかなか難しいのです。こうした難しさのある中で、最初



の挑戦にして、その子らしい個性的な課題が5年生からたくさん出てきたことは驚きでしたし、次の個人探究が更に楽しみになるなと思いました。

### 自分で調べたことだからこそ、原稿なしで説明できる！

発表会での発表は一人5分以内でした。児童にとって5分というのはかなりの時間で、5分話すとなると多くの場合は原稿が必要です。今回の発表でも、事前に原稿を書いていた児

## 校長メッセージ No 11

童もいましたが、実際の発表の際には、多くの児童がその原稿に頼ることなく、探究したことをその場に応じた自分の言葉で報告していました。タブレットで自分の探究の成果をまとめたプレゼンテーション資料を作成し、それを示しながら発表する児童もいました。自分が興味・関心を持っていることを、自分なりのこだわりや進め方で探究したことが、この姿につながったのだと強く思いました。



自分が興味・関心を持っていることを、自分なりのこだわりや進め方で探究したことが、この姿につながったのだと強く思いました。

そして、こうした姿は、広島県で掲げられている「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」【15歳の生徒に身に付けさせたい力】に直結するものだとも感じました。

※「自己表現」については令和3年度の校長メッセージ No22 を参照してください。

令和4年9月22日 校長 中谷 一志